

Change the 卸 Future
未来への変革

株主の皆さまへ

第113期

株主通信

事業活動のご報告

2021年4月1日～2022年3月31日

目次

ごあいさつ	1
社長メッセージ	2
ニュース&トピックス	5
連結業績ハイライト	7
セグメント別業績	8
会社概要	9
株式の状況	10

株式会社 メディパルホールディングス

証券コード7459

流通価値の創造を通じて 人々の健康と社会の発展に 貢献します。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃のご支援に心より感謝申し上げ、ここに株主通信(第113期事業活動のご報告)をお届けいたします。

コロナ禍が続く中、メディパルグループでは、顧客や従業員の感染防止に努めるとともに、医薬品、医療機器、臨床検査試薬、日用品などの生命関連商品を安定してお届けする活動に尽力しております。また、人々の健康と社会の発展に貢献できるさまざまな取組みを積極的に行っております。これからも「医療と健康、美」の事業フィールドにおいて、さらなる流通価値の創造に努めてまいります。

株主の皆さまには、当社グループへの変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 渡辺 秀一



中期ビジョンに沿った成長戦略を推進

メディパルグループでは「医療と健康、美」の流通で社会に貢献する新しい卸の形をめざし、社会環境の変化を見据えたビジョン「2022メディパル中期ビジョン **Change the 卸 Future** - 未来への変革」に沿った取組みを展開してまいりました。

最終年度となった2022年3月期は、さまざまな分野の企業とのパートナーシップの構築を通じて、環境負荷の軽減につながる取組みや再生医療における最適なバリューチェーン

構築に向けた取組みを行ってまいりました。また、CVCファンド*1を活用し、医療機器、医療IT、再生医療分野における有望なベンチャー企業に対して出資を行い、画期的な技術開発などを支援する独自の取組みを進めてまいりました。

政策保有株式については、その目的と経済合理性を鑑みて複数銘柄の売却を行いました。今後も資本生産性の向上に向けて保有の可否を検討してまいります。

2022年3月期の主な取組み

事業成長投資

- オリヅルセラピューティクス(株)への出資
- リバーフィールド(株)への出資(CVC)
- Holoeyes(株)への出資(CVC)
- 神栄(株)との資本業務提携
- イノバセル(株)への出資(CVC)
- (株)サイフューズへの投資(PFM[®])
- 湘南アイパークメンバーシップ加入

サステナビリティへの取組み

- 新型コロナワクチンの保管・配送
- (株)ツルハとの取組み
- (株)マツキヨココカラ & カンパニーとの取組み
- 日本航空(株)とドローンを活用した持続可能な物流網の構築に向けた共同研究
- モーダルシフト*2への取組み

持続可能な社会の実現に向けた取組みや、
医療ベンチャー企業との提携を加速

*1 CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)ファンド…国内外のベンチャー企業への投資および成長支援を行うことで収益基盤の拡大と企業価値の最大化をめざす。

*2 モーダルシフト…トラック等の自動車で行われている貨物輸送を、環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。

※ 用語説明は、5-6ページのメディパルDictionaryをご参照ください。

これらの取組みの結果、2022年3月期における経営成績は、売上高3兆2,909億21百万円、営業利益456億24百万円、経常利益620億46百万円、親会社株主に帰属する当期純利益294億23百万円となりました。

なお、当連結会計年度の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。

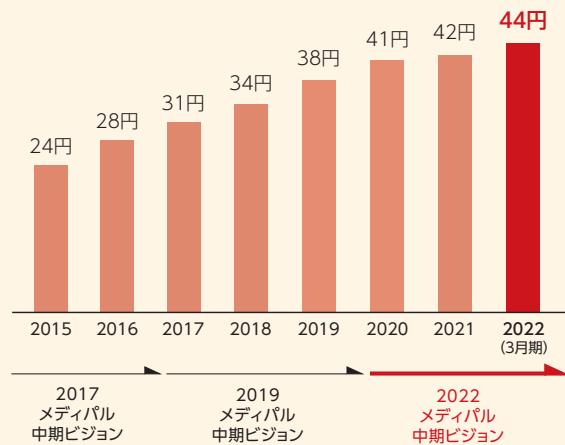
「収益認識に関する会計基準」等を適用しなかった場合の数値は、売上高3兆3,226億38百万円(前期比3.5%増)、営業利益455億9百万円(前期比18.0%増)、経常利益619億30百万円(前期比16.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益293億53百万円(前期比22.7%増)となります。

配当金のご案内

2022年3月期
期末配当金 1株当たり23円

当社は、連結配当性向30%を目安に安定配当を継続することを基本方針としております。当期の配当金は、1株当たり期末配当金を23円とし、中間配当金21円とあわせて、1株につき44円とさせていただきます。

1株当たり年間配当金



コンプライアンスの徹底

「コンプライアンスの徹底」は経営方針の一つの柱であり、代表取締役社長である私がグループコンプライアンス管掌として率先・推進しております。また、コンプライアンス重視の姿勢を明確に示し、遵法精神に則った企業風土を確立していくため、「企業活動指針」を制定しております。

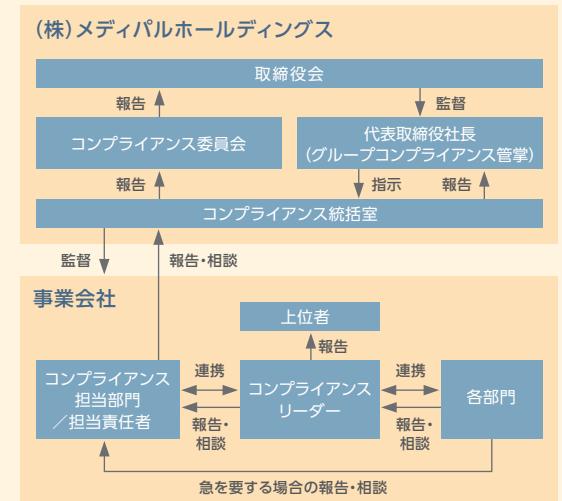
さらに、取締役会の諮問機関として「コンプライアンス委員会」を設置し、定期的を開催しております。同委員会では、私が委員長となり、業務執行取締役、社外取締役を交え、当社グループのコンプライアンスを継続してモニタリングすることで、改善に向けた指導、助言、監督を行っております。

今後も、組織的かつ継続的に社員教育や啓発活動を行うことにより、さらなる法令遵守の徹底、内部統制の充実を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

～企業活動指針～

遵法精神に則り、
 正しい競争をすることは、
 全従業員の質的水準を上げ、
 企業に変革を起こし、
 お客様の喜びにつながり、
 さらなる企業価値向上となる。

コンプライアンスの推進体制



事業成長投資

有望なベンチャー企業などへの投資を行い、事業成長に向けたパートナーシップの構築を進めました。

2021.11 CVC

Holoeyes (株) への出資

VR技術を活用した医療ITベンチャー企業であるHoloeyes (株) へ出資しました。デジタル・ヘルスケアの最先端技術を支援していきます。

Holoeyes MDとは
画像診断装置等から提供された人体の画像情報をコンピュータ処理し、処理後の画像情報を診療のために提供。自動診断機能は有さない。

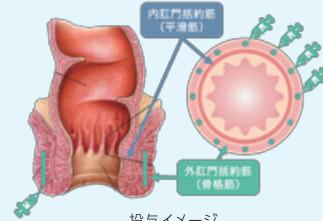


Holoeyes MD使用イメージ

2021.12 CVC

イノバセル (株) への出資

便失禁・尿失禁領域を中心とした再生医療等製品を開発するイノバセル (株) へ出資しました。再生医療等製品の開発を流通面より支援するとともに、潜在患者への疾患啓発活動にも貢献して、本治療法の認知を高め、患者さんのQOL向上をめざしていきます。



投与イメージ

2021.12

神栄 (株) との資本業務提携

(株)メディセオと神栄 (株) の子会社である神栄テクノロジー (株) は、医療用医薬品等の温度管理に対応するロガーの共同開発を進めています。今後は、さらに機能拡張を図り、製薬企業から患者さんに至るまでの高精度なトレーサビリティを実現していきます。



メディセオが神栄テクノロジーと共同開発した温度ロガー「G-TAG TempView」は、新型コロナウイルス感染症ワクチンの保管・輸送用ロガーに採用

2021.12 PFM®

(株)サイフューズへの投資

(株)サイフューズが進めている、バイオ3Dプリンタを活用した再生医療等製品の開発の事業化を支援し、将来の再生医療分野における取扱い製品の拡充と、患者さんのQOL向上に貢献していきます。



バイオ3Dプリンタ
サイフューズ独自のバイオ3Dプリンティング技術

サステナビリティへの取組み

持続可能な社会の実現に貢献するため、環境や働き方の課題解決につながる取組みも進めています。

2021.10

物流最適化による効率化とCO₂排出量の削減

(株)マツキヨココカラ&カンパニーとの医薬品流通最適化モデル構築に向けた取組みについて発表。同社の子会社であるマツモトキヨシグループおよびココカラファイングループと、(株)メディセオとの間で、配送回数最適化などに取り組み、CO₂排出量の削減、生産性向上、働き方の改革を実践していきます。

2021.12

「モーダルシフト」による環境負荷の低減、物流の生産性向上

(株)メディセオ、日本貨物鉄道 (株)、日本フレートライナー (株)、日本石油輸送 (株) の4社共同プロジェクトにおいて、物流センター間の医薬品移送のモーダルシフトに取り組んでおり、「第20回グリーン物流パートナーシップ会議優良事業者表彰〔特別賞〕」を受賞しました。



専用コンテナ

2021.10 2022.2

ドローンを活用した医薬品輸送に関する共同検討を開始

日本航空 (株) とドローンを活用した医薬品輸送に関する共同検討を開始。10月には兵庫県洲本市で医薬品の拠点間輸送をユースケースとした実証実験を、また2月には都内で初めて、隅田川に架かる永代橋など複数の大橋をドローンで横断する医薬品配送の実証実験を行いました。平時・有事を問わず、安定的に流通できる持続可能な物流網を構築していきます。



メディセオ 淡路FLC*から離陸する環境性能に優れた電動ドローン

新たな物流への取組み

2022.3

医療・ヘルスケア領域における物流合併会社「(株)メディスケット」の設立を発表

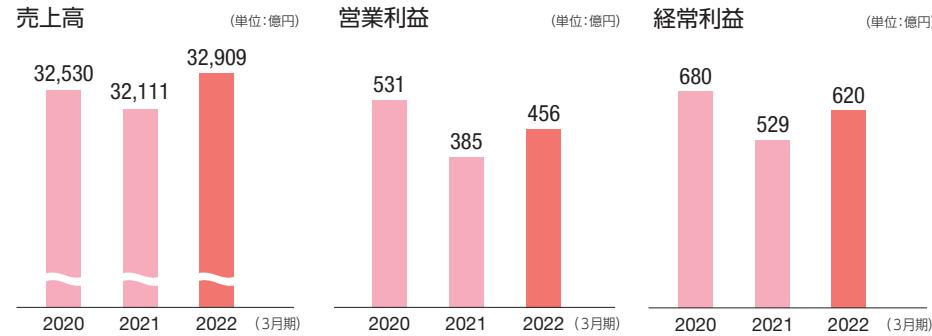
H.U.グループホールディングス (株) と、2022年4月に (株)メディスケットを設立しました。両社は、(株)メディスケットを通じ、医薬品・検査資材等の供給と臨床・治験・研究等の検体の集荷を最適化することに加え、GDPガイドライン*に準拠した高品質な物流サービスを提供することにより、さまざまなヘルスケアに関わる企業の参画を促進していきます。

*GDPガイドライン (Good Distribution Practice=医薬品の適正流通)…流通経路 (仕入・保管・供給) の管理が保証され、医薬品の完全性が保持されるための手法。さらに、偽造医薬品の正規流通経路への流入を防止するための適切な手法を定めたもの。

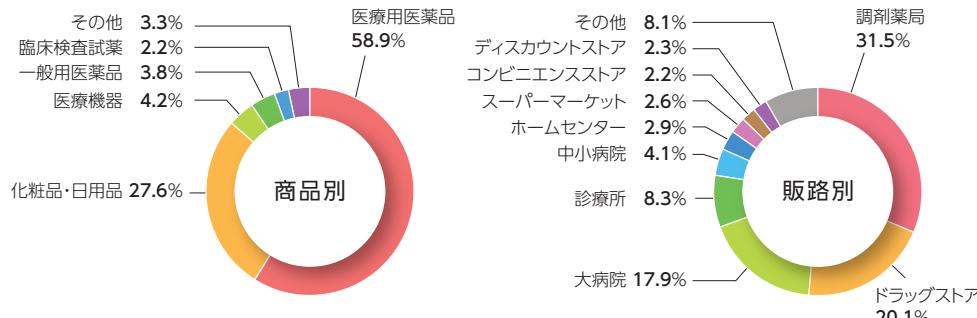
メディカルDictionary

ALC	: Area Logistics Center	医療用医薬品や医療材料、臨床検査試薬などを扱う高機能物流センター。調剤薬局、病院、診療所などに商品を供給	PFM*	: Project Finance & Marketing	医療用医薬品の開発投資を通じて、リスクとリターンを製薬企業と共有するビジネスモデル
AR	: Assist Representatives	MR認定試験に合格したMS (医薬品卸売業の営業担当者) や薬剤師などに付与した社内呼称	PMS	: Post Marketing Surveillance	製造販売後調査。医薬品や医療機器を発売した企業が、製品の品質・有効性・安全性を確認するために法的に義務づけられた調査
FLC	: Front Logistics Center	ALCと連携して、顧客に近い場所で商品の安定供給を支える営業兼物流拠点			

連結業績ハイライト (2022年3月期)



売上高の内訳



※7-8ページの数値は、2022年3月期 当連結会計年度の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。なお、8ページの各事業の前期比は、「収益認識に関する会計基準」等を適用しなかった場合の数値を用いて算出した値です。

売上高
3兆2,909億円

営業利益
456億円

経常利益
620億円

親会社株主に帰属する
当期純利益
294億円

最新の
決算説明会資料を
ご覧いただけます

こちらのQRコードから
アクセスしてください。

<https://www.medipal.co.jp/ir/library/presentation/>

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

セグメント別業績 (2022年3月期)

医療用医薬品等卸売事業

売上高
2兆1,770億円
前期比 **4.5%増**

売上高構成比 **66%** | 営業利益構成比 **37%**

営業利益
166億円
前期比 **56.9%増**

医療用医薬品等の市場は、薬価の引き下げや新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、受診抑制などが徐々に回復したことで、病院・調剤薬局市場での販売や、感染症関連の医療機器、臨床検査試薬等の販売が増加し、堅調に推移いたしました。このような状況の中、製薬企業から患者さんに至るサプライチェーン全体の最適化・効率化を図るため、卸機能を最大限に発揮するさまざまな取組みを行いました。

- ALC*では超低温を含めた全温度帯に対応できる物流プラットフォームを構築。これらの技術やノウハウは、新型コロナワクチンの保管・配送にも活用。
- お客様と連携しながら、新たな医薬品流通最適化モデルを構築。
- AR*、PMS*、PFM**などの新規事業が収益に寄与。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

売上高
1兆457億円
前期比 **1.3%増**

売上高構成比 **32%** | 営業利益構成比 **57%**

営業利益
259億円
前期比 **1.7%増**

化粧品・日用品、一般用医薬品の販売は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、需要は一時持ち直しの動きが見られたものの、再度の感染拡大や原材料価格の高騰などにより経済の先行きは不透明な状況が続きました。このような状況の中、事業継続の要である従業員の安全を守りつつ、社会環境の変化に対応すべく新たな取組みにも積極的に挑戦し、サプライチェーン全体の最適化・効率化に向けた取組みを進めました。

- サプライチェーン全体の最適化・効率化およびSDGsの達成に向けた取組み・非食品部門と食品部門において別々で行っていた物流を2024年9月から小売業様と協働して一括で開始。
- メーカー様・小売業様が行う販促物の企画・製作、梱包、配送および店頭設置などを(株)PALTACが一貫して担うサポート業務を開始。

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

売上高
718億円
前期比 **4.4%増**

売上高構成比 **2%** | 営業利益構成比 **6%**

営業利益
26億円
前期比 **16.6%増**

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業の販売は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、自社企画品の普及・定着や、全国展開の強みを活かした営業の推進などにより、順調に推移しました。

動物用医薬品等卸売事業	食品加工原材料等卸売事業
●日本市場での自社企画品の普及・定着。	●全国展開の強みを活かした営業の推進。
●独自の動物病院向けWEB発注情報システム「MP+(エムピープラス)」の利用拡大。	●お客様の商品企画から流通に至るまでをトータルにサポートし、新規取引が拡大。

会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	株式会社メディパルホールディングス	
本社所在地	〒104 - 8461 東京都中央区八重洲二丁目7番15号	
資本金	223億98百万円	
創業	1898(明治31)年10月8日	
設立	1923(大正12)年5月6日	
従業員数	12,801名(連結ベース)	
取締役 ^{※1}	代表取締役社長	渡辺 秀一
	取締役副社長	長福 恭弘
	専務取締役	依田 俊英
	常務取締役	左近 祐史
	取締役	三村 浩一
	取締役	渡辺 紳二郎
	取締役	今川 国明
	取締役	糟谷 誠一
	社外取締役	加々美 光子
	社外取締役	浅野 敏雄
	社外取締役	昌子 久仁子
	社外取締役	岩本 洋
監査役 ^{※1}	常勤監査役	平澤 利夫
	常勤監査役	神田 茂
	社外監査役	北川 哲雄
	社外監査役	豊田 友康
	社外監査役	佐貫 葉子
執行役員 ^{※2}	主席執行役員	鎗水 博司
	上席執行役員	川原 正範
	執行役員	京極 光弘
	執行役員	柳井 宣人
	執行役員	筒井 久
	執行役員	柏木 整
	執行役員	橋田 一夫
	執行役員	山崎 照弘
	執行役員	平賀 久夫
	執行役員	松井 文一
	執行役員	北原 禎二
	執行役員	内匠屋 篤
	執行役員	一柳 吉孝
	執行役員	小路 哲也
	執行役員	杉森 泰彦
	執行役員	飯塚 隆久

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

株式会社メディセオ(東京都中央区)
株式会社エバルス(広島市南区)
株式会社アトル(福岡市東区)
SPLine株式会社(東京都中央区)
株式会社MMコーポレーション(東京都文京区)
株式会社アステック(茨城県つくば市)
株式会社MVC(福岡市東区)
株式会社ファルフィールド(東京都江東区)
メディエ株式会社(東京都中央区)
株式会社エム・アイ・シー(東京都文京区)
株式会社メディパル保険サービス(神戸市中央区)
四国薬業株式会社(愛媛県松山市)^{※3}
株式会社よんやく(愛媛県松山市)^{※3}
中澤氏家業株式会社(高知県南国市)^{※3}
東七株式会社(長崎県佐世保市)^{※3}

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

株式会社PALTAC(大阪市中央区)

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

MPアグロ株式会社(北海道北広島市)
メディパルフーズ株式会社(札幌市中央区)



当社および当社連結対象の
子会社7社^{※4}が
「健康経営優良法人2022」認定取得



当社連結対象の
(株)メディセオが
「えるぼし認定(3つ星)」取得

※1 2022年6月24日現在

※2 2022年7月1日現在

※3 資本・業務提携会社

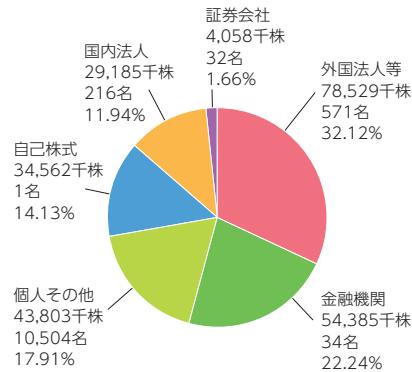
※4 (株)メディセオ、(株)エバルス、(株)アトル、(株)MMコーポレーション、(株)PALTAC、MPアグロ(株)、メディパルフーズ(株)

株式の状況 (2022年3月31日現在)

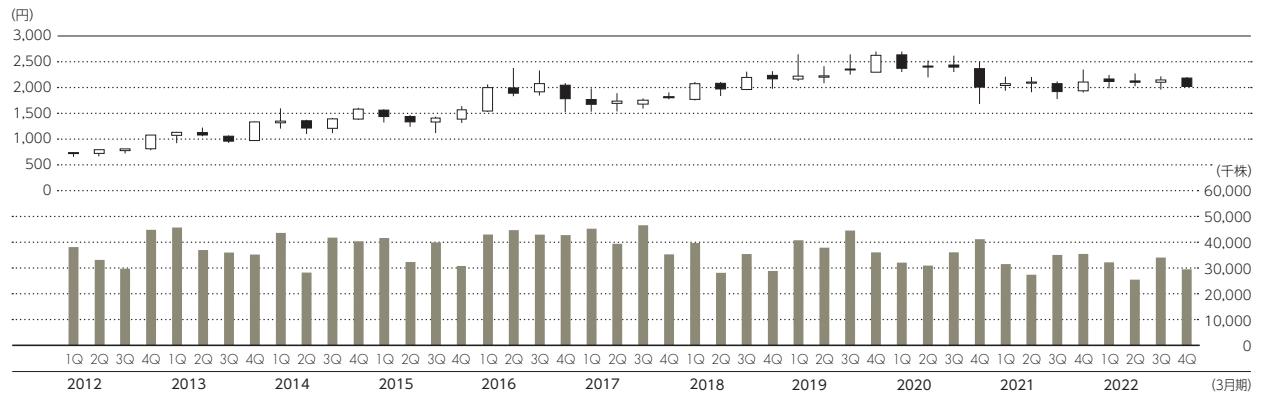
株式の状況

発行可能株式総数 900,000,000株
発行済株式総数 244,524,496株
株主数 11,358名

所有者別分布状況 (持株比率)



株価及び株式売買高の推移 (四半期定)



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	29,780	14.18
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,243	4.40
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	6,838	3.26
MPグループメディセオ従業員持株会	5,969	2.84
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 (常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済営業部)	5,278	2.51
小林製薬株式会社	5,074	2.42
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	4,941	2.35
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・エーザイ株式会社退職給付信託口)	4,345	2.07
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,274	1.56
大日本住友製薬株式会社	3,149	1.50

(注)1. 当社は、自己株式34,562千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2. 大日本住友製薬株式会社は、2022年4月1日付で住友ファーマ株式会社に商号を変更しております。
3. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。
4. 持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

株主メモ (2022年3月31日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会基準日 毎年3月31日
	期末配当基準日 毎年3月31日
	中間配当基準日 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	7459
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168 - 0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120 - 782 - 031 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(インターネット ホームページ照会先)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

マイナンバー制度に関する お手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

株式関係事務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主さまのマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。このため、株主さまからお取引のある証券会社等へ、以下のとおりマイナンバーを届出いただく必要がございます。

証券会社の口座で株式を管理されている株主さま

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主さま

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (左記の電話照会先)までお問い合わせください。

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

見直しに関する注意事項

この株主通信に記載されている当社グループの計画、見直し、戦略などは、経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見直しと異なる可能性がありますことをご承知おきください。